



第53回日本老年医学会学術集会
イブニングセミナー2 (ES-2)

脳血流SPECTの 基礎と臨床応用

～特に認知症と糖尿病との関連性を評価する～

日時

2011年6月15日(水)
16:30～18:00

会場

京王プラザホテル
4階 花C+D
〒160-8330 東京都新宿区西新宿2-2-1

司会

北村 伸先生

(日本医科大学 武蔵小杉病院 内科 教授)

演題1

認知症診療における
脳血流SPECTの役割と可能性

百瀬 敏光先生

(東京大学大学院医学系研究科 生体物理医学専攻
放射線医学講座 核医学分野 准教授)

演題2

糖尿病における
認知症を早期発見するために

荒木 厚先生

(地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター
糖尿病・代謝・内分泌内科 部長)

共催：第53回日本老年医学会学術集会／
日本脳神経核医学研究会／日本メジフィジックス株式会社

 nihon
medi+physics



脳血流SPECTの 基礎と臨床応用

～特に認知症と糖尿病との関連性を評価する～

演題 1

認知症診療における脳血流SPECTの役割と可能性

百瀬 敏光 (東京大学大学院医学系研究科 生体物理医学専攻 放射線医学講座 核医学分野 准教授)

アルツハイマー病発症機構の分子レベルの解明と治療法の進歩により、早期診断と病状評価の重要性が強調されている。アルツハイマー病のもっとも初期に現れる病理変化は老人斑と考えられ、その主成分であるβ-アミロイド凝集体の画像化は、βシート構造に親和性のあるThioflavin誘導体などの放射性標識化合物により可能となってきた。老人斑の蓄積とその後の神経原線維変化の進展にともない、シナプス活動性の低下、ひきつづき神経細胞の脱落による脳萎縮が進行

すると考えられ、その段階で、糖代謝を測定するFDG-PETや脳血流SPECTが病態の推移を評価するうえで重要性をもつと考えられる。脳血流SPECTの役割は、(1)早期診断、(2)鑑別診断、(3)治療効果・病状進行の評価に集約されると思われる。本講においては、アミロイドイメージングとI-123 IMP-SPECTとの対比、および糖尿病治療薬など新規認知症治療法の客観的評価法としてのSPECTという視点を加え、脳血流SPECTの役割と可能性について概説する。

演題 2

糖尿病における認知症を早期発見するために

荒木 厚 (地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター 糖尿病・代謝・内分泌内科 部長)

糖尿病患者は非糖尿病患者と比べて、血管性認知症のみならず、アルツハイマー病が約2～3倍多い。認知症を早期に診断するためにはMMSEなどで認知機能のスクリーニングを行うことが重要である。また、本人や家族の話からIADL低下やセルフケア能力の低下を手がかりとして、認知機能低下を疑うことが必要である。さらに、合併した認知機能低下の原因が血管性認知症、アルツハイマー病、脳血管障害を伴ったアルツハイマー病かどうかを鑑別するために脳MRI、脳血流

SPECTを行うことが望ましい。糖尿病では脳梗塞の合併が多いため脳血管障害を伴ったアルツハイマー病は見逃されやすい。脳血管障害があっても、脳血流SPECTを行い、後部帯状回、楔前部、側頭頭頂葉の血流低下があれば脳血管障害を伴ったアルツハイマー病と診断できる場合がある。糖尿病の診療においては高血糖、重症低血糖、高血圧、脂質異常症、運動不足、低栄養、炎症などの認知症の危険因子にも注意を払う必要がある。

About JCNN

日本脳神経核医学研究会について

日本脳神経核医学研究会は、脳核医学に関する基礎および臨床研究の推進とその普及をはかり、それを通じて我が国の学術文化の発展に寄与し、国民の保健と福祉の向上に資すると共に、国際協力につとめることを目的としています。

脳核医学の発展には、放射線科や核医学科において検査を実施する医師や技師に加えて、脳神経外科、神経内科、精神科などで実際の診療に携わる臨床医、装置や医薬品の開発を行う物理学、薬学、化学などの基礎研究者の協力が不可欠です。本研究会は、これらの学際的な領域の医療関係者や研究者を対象に、セミナーや講演会などを開催して、脳核医学の幅広い普及をめざします。また、脳核医学に関する多くの課題について議論する場を設定して、検査法の確立、臨床使用のためのガイドラインの作成、国際的な枠組みの中で情報交換などを行っています。

研究会の会員相互の情報交換には、インターネットを活用して幅広く情報を提供していきたいと考えています。本研究会が主催、共催する行事や関連研究会の案内もホームページ

でご覧いただけます。会員が情報を共有するとともに、外部に向けて発信できる新しいタイプの研究会を指向して活動を行っていきたくと考えています。この趣旨にご賛同いただき、脳核医学の発展のために、是非本研究会にご参加下さい。

詳しくはホームページをご覧ください。
<http://www2.convention.co.jp/jcnn/>

日本脳神経核医学研究会事務局
〒100-0013
千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞ヶ関ビル18F
日本コンベンションサービス株式会社内
E-mail: infojcnn@convention.co.jp
Tel: 03-3508-1214 Fax: 03-3508-1302

